

住団連

豊かな住生活をめざして—

平成23年10月号 Vol.215



ホームページに全文掲載しています ホームページ <http://www.JUDANREN.or.jp>

東日本大震災に思うこと (リスク管理と応急住宅)

(社)住宅生産団体連合会 理事 熊 建夫
〔社)日本木造住宅産業協会 専務理事〕

あの日、あの時、あの揺れのなか、私はある住宅関連団体の会議室にいた。旧耐震のビルのように一瞬背筋が強張った。大地震の直撃は生涯2度目であった。一度目は、昭和58年5月、日本海中部地震。当時秋田県は、地震の“空白域”とされ、“関東直下型”や“東海沖”で危険とされていた東京から移り住んで間もない身に地震対策など思いも



よらぬものだった。当時としては“想定外”だった。しかし以降、関東・東海を中心とする大地震はなく、空白域とされたところにはしばしば発生している。ある地震研究者の「地震の予知に労力をかけるよりも発生後の対応策、特にソフト対策を重視した方がよい」の言葉は的確だ。

リスク管理はいつの時代も重要だ。

たとえば車の運転、安全運転をいくらしても避けられない事故がある。

例えば、高速道路を通常運転中に対向車線から車が飛び込んできた場合などだ。

避けられないリスクはあきらめるしかないが、避けられるリスクは減ずる対応策をとらなければならない。

耐震性の低い住宅や建物で居住、業務を行う人はその倒壊のリスクを常に意識し、耐震化に努めるなどその環境からの脱出を考えねばならない。また、その事態に至ったとき、被害を最小にとどめる方策を意識していなければならない。

4月、三陸地方の被災地を通った。主要な幹線道路の山側には、「ここまで津波による浸水のあった区域」の目新しい看板が電柱に掲げられているのが各所に見られた。今回の震災後に立てられたものと思いきや、すでに前年には見たという者がいて、改めてリスク管理の難しさを痛感。

リスク管理しても未曾有の災害はやってくる。

今回の大震災に関連して、(社)日本木造住宅産業協会は、住団連の呼びかけに応じて応急仮設住宅の建設



10月は住生活月間

に加わった。かつて協会として参加したことはなく（経歴実績ある会員企業はわずか）初めての経験であった。

3月17日の臨時理事会・運営委員会合同会議において協会会長から「国難ともいえるこの事態に、被災された同胞のために採算を度外視してでも取り組もう」との檄が飛び、まさに自発的に参加を表明した8社が応急住宅の建設に当たった。理事会社や地域に根ざした会員会社、特に遠く離れた地域からの会員もあった。他に「人員だけのお手伝いはする」という会社もあり、意識高くスタートした。

一番困ったのは各社スタンバイの状況にあるのに、建設敷地の県からの提示が遅れたことだ。ある社の関係者達がホテルで2週間以上も待たされたという。

また、5月末までに3万戸完成を目指す方針のもと工期短縮が求められ、各社それぞれの工夫で実現を図った。

一日も早く入居していただけるものと苦勞して取り組んだものの、実際に入居があまり進まない事態に。9月1日時点で入居率75%との報道あり。事情は「仮設に入れば支援物資の配給がなくなる」「仮設では電気、ガスなどの料金を自ら払う必要がある」など。

津波で家財を一切なくした被災者にとって、生活のための資金を充実することはとりもなおさず重要である。なぜ、義援金はスムーズに配分できないのか？

関係団体は“配分の基準が決まらない”あるいは“担当の市町村の人手不足”などをその理由として挙げる。しかし、義援金を出した人々の思いは、“できるだけ早く被災者の手に届いてほしい”であり、数千億円にのぼる善意の相当部分が宙に浮くなどということはあってはならないことだ。

蛮勇を奮ってでも、一定の金額を、ID証明は簡略化して、例えば顔写真と拇印のみで配布するなどがあってもよかつたはずだ。“インチキをしたら厳罰ですよ”として。政治的リーダーシップが期待されたのではないか。

今回の応急住宅の建設は原則として津波の被災地は除外された。そのために住宅の敷地の確保が大変であったという事情がある。苦勞の果てにできあがった5万戸の応急住宅のためにも、また、子々孫々の安全のためにも、復興住宅は、リスク管理も十分に可能な高台などに、その地を定めてほしい。

◇「第23回住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in とくしま」 開催のお知らせ

住生活月間中央イベント実行委員会（委員長 樋口 武男（社）住宅生産団体連合会会長）では、2011年10月9日（日）～11日（火）（但し展示会は9日～10日のみ）、徳島県徳島市の「藍場浜公園」にて、「第23回住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in とくしま」を開催いたします。

同イベントは、住宅に関する充実した情報を全国の消費者に提供し、国民の皆様に住生活、住環境に関する知識や理解を深めていただくことを目的に、1989年から実施しているものです。

今年度は、「実現！ ず～っと愛される安全・省エネの住まいづくり」をメインテーマに、長期優良住宅に焦点を当てつつ、安全で安心、及び、エコな暮らしも同時訴求できるように開催し、住生活の向上に役立つパネル展示や映像化など、参加型イベントを開催します。

今年度も、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、合同記念式典、テープカットセレモニーを行います。

【開催概要】

- ・ 名 称：第23回住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in とくしま
- ・ 日 程：2011年10月10日（月）
13：00～13：50 ①合同記念式典
14：30～14：35 ②テープカットセレモニー
- ・ 会 場：
①徳島グランヴィリオホテル（合同記念式典）
（住所：徳島県徳島市万代町3-5-1）
②徳島県立「藍場浜公園」屋外
（テープカットセレモニー・展示会場）
（住所：徳島県徳島市藍場町）
- ・ 主 催：住生活月間中央イベント実行委員会
- ・ 共 催：徳島県
- ・ 後 援：国土交通省、住宅金融支援機構、都市再生機構、徳島市
- ・ 入場無料
- ・ 開催テーマ：「実現！ ず～っと愛される安全・省エネの住まいづくり」

【テーマ展示】

地球や家族のために、そして未来のために、安全で安心な質の高い住まいをつくり、永く大切に住み

継がれていく住まいづくりについて解りやすく解説いたします。

会場において、「省エネ住宅のススメ」（小冊子）、「住団連プレス・長期優良住宅特集（号外版）」を配布します。

【パネル展示】

中央イベントメインテーマ展示（映像入り、クイズ付）・第7回「家やまちの絵本コンクール」入賞作品、その他関連団体のパネル展示を行います。

*詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://chuo-event.jp/>

お問い合わせ先：住生活月間中央イベント実行委員会事務局 松田・松本
Tel：03-3592-6786

◇「ゆとりある豊かな住生活を実現する 国民推進会議」全国フォーラム開催 のご案内

日本の住宅政策は、少子高齢化などをはじめとする社会の変化や、地球温暖化問題等、時代の要請に伴い、社会的資産としての良質な住宅ストックを形成し、ながく大切に住み続けるストック型社会へと大きく転換しつつあります。そして、これを実現するためには、広く国民にその方向性を理解してもらい、事業者ともども努力していくことが必要です。今年度の「ゆとりある豊かな住生活を実現する国民推進会議」全国フォーラムは、「がんばろう 日本！強くしよう日本の住まい」をメインテーマに、下記の内容にて開催いたします。

【開催概要】

- 日 時：平成23年10月31日（月）
13：00～17：00
- 場 所：東京大学 安田講堂
東京都文京区本郷7-3-1
- プログラム
 - ◇セレモニー 13：30～14：00
奥田会長挨拶、大会宣言など
 - ◇基調講演 14：00～15：15
講師：堀田 力 氏（弁護士、（公益財団法人）さわやか福祉財団理事長）
テーマ：「地域包括ケアのある町づくり～復興を応援し、社会的弱者に優しい地域創

造に向けて～」

◇シンポジウム 15：30～17：00

テーマ：「災害に強い住まい×安心して暮らせる地域社会」

パネリスト：堀田 力氏、中田 敬司氏
三井康壽氏、紺野美沙子氏

コーディネーター：青山 佳世氏

□参加費：無料（下記ホームページより参加申込票をダウンロードしてお申し込みください）
<http://www.jyuseikatsu-kaigi.jp/>

主催：「ゆとりある豊かな住生活を実現する国民推進会議」

事務局：（社）住宅生産団体連合会内
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-6
晩翠軒ビル
TEL 03-3592-6497 FAX 03-3506-0655

◇第7回「家やまちの絵本」コンクール結果の報告

第7回「家やまちの絵本」コンクールを実施しましたが、このたび受賞作品を決定いたしました。概要は次の通りです。

1. 趣旨

幼少期から住まいやまち、家族などに関心を持ってもらうことを期待してそのきっかけ作りを行います。また、このことにより小中学生に対する総合学習や道徳教育としての教育的効果の高まりも期待します。

2. 実施概要

- ①募集期間：7月20日から9月6日（消印有効）
- ②募集部門：
 - A) 子供の部（小学生以下、親による製本化の手伝いは可）
 - B) 中・高校生の部
 - C) 大人の部（18歳以上）
 - D) 合作の部（制作者が複数いる場合）

3. 応募作品：1131作品

4. 審査日程：9月16日（金）

審査委員長：

延藤 安弘（愛知産業大学大学院 教授）

審査委員

小澤紀美子（東京学芸大学 名誉教授・東海大学 教授）
町田万里子（手作り絵本研究家）
勝田 映子（筑波大学附属小学校 教諭）
大道 博敏（江戸川区立平井西小学校 主幹教諭）
藤本 俊樹（国土交通省住宅局木造住宅振興室長）
山品 一清（住宅金融支援機構 CS 推進部長）
佐々木 宏（住宅生産団体連合会 専務理事）
（敬称略）

- 5. 表彰：国土交通大臣賞（1作品）、
文部科学大臣奨励賞（2作品）
住宅金融支援機構理事長賞（1作品）
（いずれも図書カード5万円）
住生活月間中央イベント実行委員長賞
（各部門1点、図書カード3万円）
入選作品（各部門上位作品、
図書カード1万円）
計28作品
表彰式：10月10日の住生活月間中央イベント
式典で行う

- 6. 展示：10月9日から10日にかけて徳島市藍場浜公園で展示するのについて10月17日から11月15日まで住宅金融支援機構（東京都文京区後楽）のギャラリー会場でも実施します。

- 7. 主催：住生活月間中央イベント実行委員会
共催：社団法人 住宅生産団体連合会
後援：国土交通省、文部科学省、
住宅金融支援機構、東京都教育委員会、
神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、
千葉県教育委員会、愛知県教育委員会、
大阪府教育委員会、京都府教育委員会、
兵庫県教育委員会

- 8. 参加賞：応募作品のミニオリジナルスタンドパ
ネル

<委員会活動 (8/16 ~ 9/15)>

○工事 CS・労務安全管理分科会

(8/22) 13:00 ~ 15:30

- ・ 雇入れ時、新規入場時教育用の安全行動指針について
- ・ 低層住宅建築作業用の靴に関するアンケート結果について
- ・ 全国建設業労働災害防止大会について

○住宅性能向上委員会 SWG2 (8/23) 12:30 ~ 14:30

- ・ 住宅性能向上委員会 WG の平成 23 年度活動テーマ
- ・ SWG2 のメンバー紹介
- ・ 関係団体との意見交換 (住宅金融支援機構)

○まちなみ・み力創出研究会 (8/25) 13:30 ~ 15:30

- ・ まちなみアーキテクトのための「わがまちデザインガイド」製作ノートの進捗状況報告と意見交換
- ・ 積水化学工業 (株) の最近の活動事例として、明石市高岳分譲プロジェクトとスマートハウムの紹介

○広報連絡会 (8/26) 15:30 ~ 17:30

- ・ 10 団体との情報交換
- ・ 各団体広報紙、リリースの発表

○住宅性能向上委員会 (8/29) 14:30 ~ 17:00

- ・ 住宅性能向上委員会平成 23 年度要望事項を受けて/国土交通省 住宅生産課
- ・ 平成 23 年度第 1 回住宅性能向上委員会 議事要旨 (案) について
- ・ 平成 23 年度住宅性能向上委員会 /WG の取り組み

○建築規制合理化委員会 WG (8/30) 10:00 ~ 12:00

- ・ 第 2 回建築規制合理化委員会 (深尾教授との意見交換会) 報告
- ・ 建築規制合理化要望事項の整理と今後の活動について
- ・ 追加規制合理化要望について

○住宅性能向上委員会 SWG3 (8/31) 15:00 ~ 17:00

- ・ 性能表示制度の技術運用基準の現状について
- ・ 制度利用における評価運用での実務レベルの課題について

○第 202 回運営委員会 (9/2) 16:00 ~ 17:30

- ・ 専門委員会委員の推薦に関する件
- ・ 新法人への移行に関する件
- ・ (社) 高齢者住宅推進機構について

- ・ 8 月 2 日会長会見の報告について

- ・ 第 23 回住生活月間中央イベントについて
- ・ NAHB 中間総会 (南アフリカ) について
- ・ その他

○国民推進会議運営小委員会 (9/6) 13:30 ~ 14:30

- ・ 平成 23 年度全国大会についての広告物と運営について

○消費者制度検討委員会 (9/8) 13:00 ~ 16:00

- ・ 欠陥マンションを巡る損害賠償訴訟の上告審判決について . . . 秋野弁護士
- ・ 優良住宅部品ガイドブック 2011 について
- ・ 高効率ガス給湯器デファクト化に向けて

○住宅性能向上委員会 SWG1 (9/9) 10:00 ~ 12:00

- ・ 学識経験者との意見交換会準備について
- ・ 性能評価表示制度の普及促進キャンペーンについて
- ・ 各工法団体へのアンケート調査実施検討について

○中央イベント企画運営委員会

(9/12) 13:30 ~ 15:00

- ・ 展示企画案説明・審議
- ・ 全国統一キャンペーン実施報告 (中間)
- ・ 配布資料説明・報告

○まちなみ環境委員会 (9/12) 15:30 ~ 17:30

- ・ WG「まちなみ・み力創出研究会」が制作中の「わがまちデザインガイド」の報告と、委員よりアドバイス
- ・ WG より、今後の活動スケジュール等を提案し、上記「デザインガイド」は今年度中に完成するよう指導
- ・ プレ協 まちなみ WG より、市街地型住宅 まちなみデザインガイドラインの作成 活動について報告

○基礎地盤技術検討分科会 (9/13) 13:30 ~ 15:30

- ・ 東日本大震災に伴う浦安地区の液状化被害の分析と対策案について
- ・ 地盤工学会「地盤調査の方法と解説」の改訂作業について

○産業廃棄物分科会 (9/15) 16:00 ~ 18:00

- ・ 建設廃棄物適正処理講習会の実施状況及び質問と回答について
- ・ 住宅リフォーム推進協議会廃棄物対策 WG 情報について
- ・ 建設混合廃棄物の組成調査情報について